

「安倍政権の教育改革のゆくえ」 連続学習会 第2回

講演 「教育委員会制度改悪の問題点と 今後の私たちの取組の展望」

三上昭彦さん（元明治大学教授）

報告「京都の教育行政のあり方」 （府職労教育支部より）

5月20日衆議院本会議で教育委員会制度を見直す地方教育行政法「改正」案が採決され自民、公明、生活の賛成多数で可決され参議院に送られました。

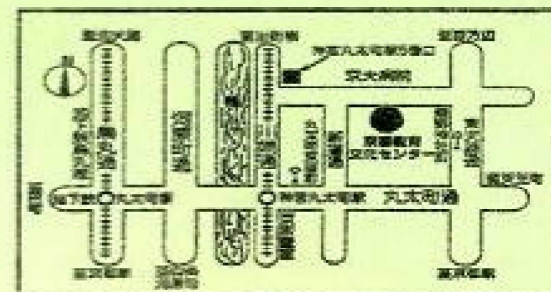
教育行政は、日本国憲法の本質に従い、政治から独立して、自主的な教育活動を守り、育てるものでなくてはなりません。しかしながら、法案は逆に首長による「大綱」策定と首長による新しい教育長の任免を通して、自治体における教育行政と教育を、国や政治家の意向に沿ったものへと転換するものです。

緊迫した情勢ですが、「改悪」の問題点を学び、子どもや学校などの教職員、保護者や地域住民のねがいや課題に正面から向き合う、教育委員会のあり方を共に考え合ひましょう。

どなたでも参加できます 資料代 500円

共催 京都教育センター ☎075-752-1081
子どもと教育・文化を守る府民会議

日時： 6月21日(土)
13:30~16:30
会場： 教育文化センター
101号



左京区聖護院川原町4-13 ☎771-4221
京阪「神宮丸太町」下車東へ徒歩5分